

令和3年度 第4回原村観光推進組織検討委員会 議事録

日 時：令和4年2月21日（水）10:30～11:30

場 所：オンライン開催

出席者

委員長 石川高明

副委員長 中村洋平

委員 鵜飼和仁 牛山高明

菊池由佳 林誠二

事務局 小池恒典 菊池紀幸 川俣大翼

地域おこし協力隊 村澤有美

1 開 会

2 協議事項

DMOの紹介とその実情（委員長より資料を用いて説明）

- ・阿智昼神観光局
- ・(株)大田原ツーリズム
- ・ツェルマット観光局

国内の事例は、表向きには行政と民間が連携して組織されたことにはなっているが、実情としては民間の事業が発展したところに行政が加わっていった形である。

意見等

委員 A 阿智村の事例については、旅館の稼働率が9割まで復活したのはすごいと思う。大田原では農泊がそこまで人気になった理由が気になる。

委員長 農泊自体に目新しさはないかもしれないが、農泊受入れの担い手を160軒確保したことがすごい。地道に一軒一軒対面でお願いしていった成果である。

委員 B 地元の人と観光客ではその土地で良いと感じるものが異なると思うが、共通でいいと思うものを活かしたい。
また、自分の行う事業についても協力できるものがあればプレーヤーとして協力していきたい。

委員 C 茅野のDMOやそれに関連する事業はかなりのスピード感を持って進んでいる。既に具体的な金額をもって予算化や推進力のある団体と共に事業の展開を行っている。茅野のDMOでは状況によっては村と一緒にやっていきたいという話もでてくる。村は茅野と一緒にやるのか、独自にやるのか、八ヶ岳観光圏で行くのかそのあたりもはっきりすべきではないか。

こちらとしては村が切りはなしたい分野を具体的に示してもらい、そこを起点に改善させていくことが DMO の起点にしやすいのではないかと。ゆっくりしていると村内の団体がそれぞれに動き出して意見が合わなくなる。

委員長 組織づくりではなく、何を中心に展開していくかの方向性を決めて進めたい。委員をはじめとする事業者の得意な分野を絡めて事業を行っていければとも思う。

3 その他

コロナ禍ということもあり、進行が遅くなっている。身近な事例の勉強をはなれ、より具体的な話に進みたい。委員の皆様が行っている事業について提供できる情報があればお話ししていただきたい。今後個別にご連絡していく。(委員長)

4 閉 会

次回の開催時期、内容についてはコロナの状況をうかがいながら、委員長と相談して決めていく。